

竹田市における 5歳児健診（集団健診型）の実際



大分県竹田市
こども家庭センター 内柳知恵美

目次

○竹田市の概況

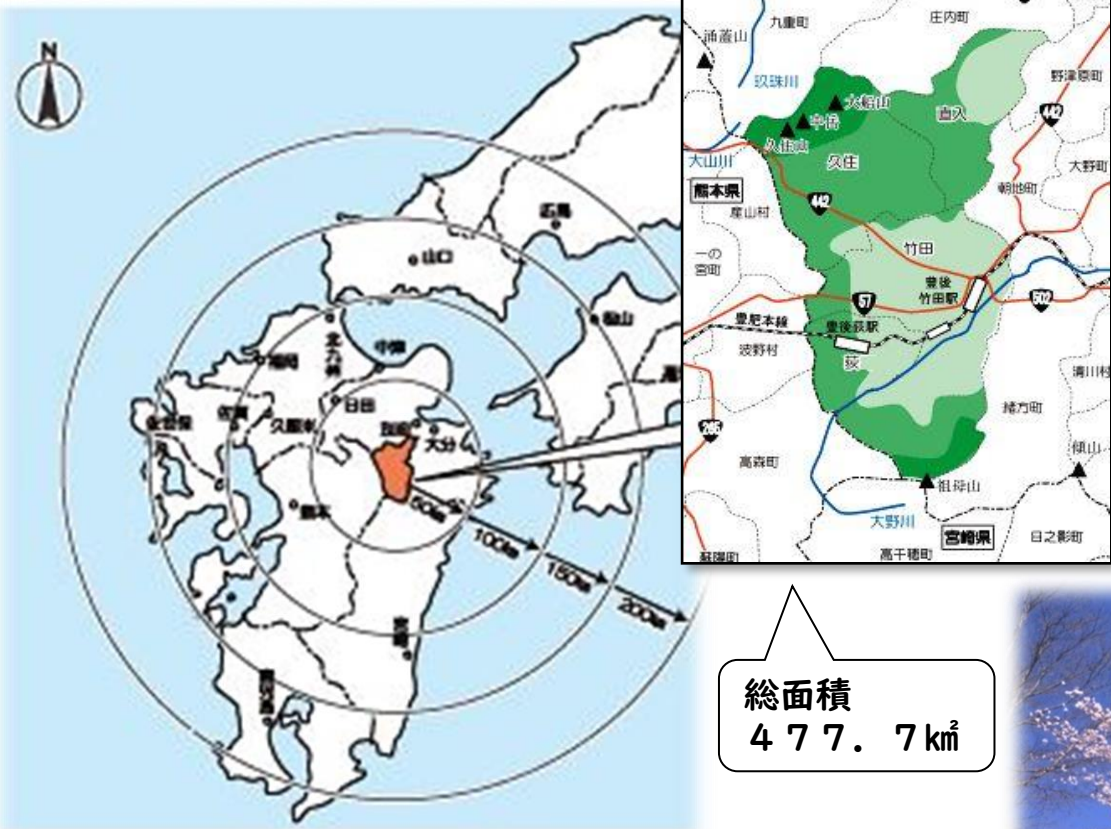
○5歳児健診 開始までの経緯

○5歳児健診の概要と実際

○健診後のフォロー体制

○竹田市の5歳児健診の成果と課題

竹田市の概況



久住高原



炭酸泉の湧き出る長湯温泉



名曲「荒城の月」のモデルとなった岡城

竹田市の概況

【令和6年3月末現在】

人口	:	19,138人
世帯数	:	9,729世帯
高齢化率	:	49.6%
年間出生数（R5年度）	:	59人
合計特殊出生率（R4年）	:	1.42（国1.26）

ひとが輝き 未来へつなぐ いのち溢れるまち『竹田』
TAKETA

3 子育て・教育・文化の分野
子どもも大人も共に
成長する育みのまち



5歳児健診開始までの経緯

時代背景

国：発達障害者支援法の施行
(平成17年4月)
学校教育法の一部を改正する法律
(平成19年4月)

県：発達障害者支援体制整備基本方針
の作成(平成20年3月)

保健師が感じていたこと

発達特性があり、就学に困りを抱える
児と保護者との関わりを通して
「3歳児健診では、就学のつなぎ
には早すぎるし、保護者も就学に
向けての困りを感じていない。
どうしたらいいのかな・・・」

5歳児 健診の きっかけ

支援者との出会い

*小児神経専門の泉教授
(当時、大分大学医学部小児科)
*大分大学教育福祉学部 他

「5歳児健診」を含む
体制整備への助言・支援

大分県(旧竹田保健所)の事業

平成16年度～3年間の事業
「発達障害を持つ児のライフステージ
を通した支援体制の構築」を目的とし
た地域療育関係者等を対象とした会
議・研修会の開催
「発達障がい児の早期発見・支援の地
域関係者の意識の高まり」

5歳児健診開始と並行して

5歳児健診

相談体制の整備
フォロー相談会

連携・相談体制の整備
(保健、医療、福祉、教育)
こども特別支援
ネットワーク

早期発見

早期支援

育児から教育支援へ

5歳児健診の概要

【開始年度】 平成19年度～
【実施方式】 集団・悉皆健診
【対 象】 実施年度に満5歳になる幼児

（目安4歳10か月～5歳0か月）
【回 数】 年4回（R5 1回平均20人）

【健診従事者】

医師（1）・看護師（1）
特別支援コーディネーター（1）
母子保健推進員（2）
子育てボランティア（2）

保健師（6）・栄養士（1）
公認心理師（1）・幼稚園教諭（1）
子育て支援員（1）・子育て相談員（1）

＊こども家庭センター保健師2名以外は
ヘルス部門保健師より業務援助



5歳児健診の実際

1. 健診当日までの準備

【対象者に対して】

①案内文書の送付

教育委員会とこども家庭センターの共催で通知

②パンフレットを同封

発達特性に関する内容のもの

③就園先がある場合は、日頃の園での様子確認

～通知文書抜粋～

健診ではお子さんが日頃とは違った様子を見せることもありますので、保育園等での日常の様子をご確認ください。

④保護者アンケート

5歳児健診の実際

I. 健診当日までの準備

④保護者アンケート

5歳児健康診査質問票

ふりがな	生年月日	年 月 日 (歳 か月)
名 前	性 別	男 ・ 女
就園先	携帯電話	(父・母)

基本情報 (予防接種・経過等)

該当する家族は

主な保育者 昼間 ☐父 ☐母 ☐祖父母 ☐保育所(園)・幼稚園
夜間 ☐父 ☐母 ☐祖父母 ☐その他()

受けた予防接種

☐ ロタ	☐ 肺炎球菌	☐ ヒブ
☐ B型肝炎	☐ 四種混合	☐ BCG
☐ MR混合	☐ 水ぼうそう	☐ 日本脳炎
☐ おたふくかぜ	☐ その他()	

今までにかかった感染症

☐ なし	☐ 麻疹	☐ 風疹	☐ 結核	☐ 百日咳
☐ 水ぼうそう	☐ おたふくかぜ	☐ その他()		

入院を要した病気や事故

☐ない

☐ある(いつ頃: 年 月 病名:)

治療中・経過観察中の病気

☐ない ☐ある()

I 運動発達・言語発達・遊びなどについて

1 今まで健診を受けましたか。 ☐乳児健診 ☐1, 6歳児 ☐3歳児

2 健診で何か指摘されましたか。 ☐ない ☐ある(内容:)

3 これまでの発達について教えてください。首のすわり()か月 おすわり()か月
歩き始め()か月 片言言い始め()か月

4 どんな遊びをしていますか。 ()

5 遊び友達はいませんか。 ☐いる() ☐よく遊ぶ ☐たまに遊ぶ ☐いない

6 目が悪いという心配はありませんか ☐ない ☐ある

7 耳の聞こえが悪いという心配はありませんか ☐ない ☐ある

8 利き手はどちらですか ☐左 ☐右 ☐はっきりしない

生活リズム等

II 日頃の生活習慣についてお聞きます

1 子どもの生活リズムについて記入してください。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23

2 起床()時 就寝()時 朝食()時 外遊び1日()時間

3 テレビ・ビデオ・スマホを見ている時間はどのくらいですか。 1日()時間

4 食事やおやつ時間は決まっていますか。 ☐決まっている ☐決まっていない

5 食事で困っていませんか。(偏食・少食・食べ過ぎなど) ☐困っていない ☐困っている()

6 歯磨きをしていますか ☐する(仕上げ磨き) ☐しない ☐しない(裏面へ)

発達特性に関する質問

III

1 スキップができる	☐	☐	☐
2 ブランコがこげる	☐	☐	☐
3 片足でケンケンができる	☐	☐	☐
4 お手本を見て四角が書ける	☐	☐	☐
5 紙を線にそって、はさみで切ることができる	☐	☐	☐
6 大便の一連の動作が一人でできる	☐	☐	☐
7 ボタンのかけはずしができる	☐	☐	☐
8 集団で遊べる	☐	☐	☐
9 家族に言って遊びに行ける(庭・玄関先・近所の友だち)	☐	☐	☐
10 ジャンケンの勝敗が分かる	☐	☐	☐
11 自分の名前が読める	☐	☐	☐
12 発音ははっきりしている	☐	☐	☐
13 自分の左右が分かる	☐	☐	☐

IV お子さんの様子について☑をしてください。

1 落ち着きがない	☐	☐	☐
2 座っていても、手足がそわそわ動く	☐	☐	☐
3 言われたことをすぐに忘れてしまう	☐	☐	☐
4 かんしゃくをおこしやすい	☐	☐	☐
5 会話がかみ合わない、一方的に話し、やりとりがしにくい	☐	☐	☐
6 友達とうまく遊べず、すぐにトラブルになる	☐	☐	☐
7 一人遊びが多い	☐	☐	☐
8 こだわりが強い	☐	☐	☐
9 不器用である(例: はしや鉛筆の持ち方や使い方がぎこちない)	☐	☐	☐
10 歩き方や走り方が不安定だったり、よく転んでぶつかってけがをする	☐	☐	☐
11 言葉の指示が伝わりにくい。(易しい言い方に変えたり、何度も説明しないとわからない)	☐	☐	☐
12 発音がはっきりしない	☐	☐	☐
13 話すときに、どもらることがある	☐	☐	☐
14 チェックがある(例: 頻繁にまばたきや咳払いをする)	☐	☐	☐
15 家では話ができるが、それ以外(園や外出先)では、話さなく	☐	☐	☐
16 感覚に過敏さや鈍さがある。(大きな音が苦手、痛みや熱さを気づきにくい、偏食が	☐	☐	☐

しつけ等

V しつけ・子育てについてお聞きます。

1 しつけについて不安がありますか ☐ない ☐ある()いつも ☐時々 ☐内容()

2 子育てが楽しいですか ☐楽しい ☐時々楽しくない ☐楽しくない

VI 心配なこと、相談したいことがありますか。 ☐ない ☐ある

※[ある] ☐身体 ☐発達 ☐しつけ ☐食事 ☐くせ ☐他

具体的に

--

5歳児健診の実際

1. 健診当日までの準備

【保健師等スタッフに対して】

①事前情報資料の作成

- ・赤ちゃん訪問、1歳6か月児健診、3歳児健診
- ・保育所等訪問の際の様子
- ・家庭環境、養育環境、きょうだい児の健診の状況 等

②事前カンファレンス (保健師・心理師・栄養士)

＜支援が必要と思われる児・家庭に対しては、以下を事前に共有＞

- ・特記すべき伝達事項
- ・問診時に確認する事項
- ・保健指導時に指導する事項
- ・保健指導者の選定
- ・支援の方向性（案）

＊医師・幼稚園教諭等、事前情報の内容を共有した方がよい情報は
健診前に打ち合わせ

①受付（子育て支援員）



③計測（看護師・子育て相談員・母子保健推進員）



④遊びのブースでの観察（心理師・幼稚園教諭）



⑤診察（医師）

内科
診察

項目				異常有無	所見
栄養	低身長	低体重	肥満	無・有	
頭部	大きさ	形態	毛髪(色など)	無・有	
顔部	顔貌(表情・反応など)			無・有	
	眼(斜視・眼振・瞳孔白色・視線の合い方など)			無・有	
	耳鼻口腔(耳介・口内炎など)			無・有	
頸部	リンパ節(異常腫脹など)			無・有	
胸部	胸部変形 心音(心雑音など) 喘息様気管支炎			無・有	
腹部	形状 肝臓・脾臓・腫瘤・臍ヘルニア			無・有	
泌尿系	男児: 外性器異常・停留嚢丸・そけいヘルニアなど			無・有	
	女児: 外性器異常・ヘルニアなど			無・有	
四肢	形態(O脚・X脚など) LCC 関節 筋緊張			無・有	
皮膚	色、緊張度、母斑、湿疹、皮膚炎、アトピー傾向など			無・有	
その他	アレルギー疾患など			無・有	
精神発達所見				無・有	
1. 精神発達遅滞		2. 言語異常		3. 日常習慣の問題点	4. 発達障害
その他の疾病異常				無・有	
結果	1.異常なし			4.要精密	()
	2.要指導 ()			5.要治療	()
	3.要観察 ()			6.治療中	()



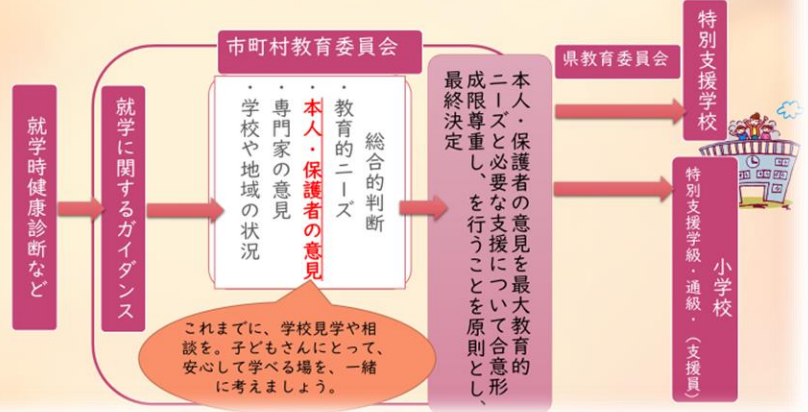
⑥就学講話（特別支援コーディネーター）

「就学に向けて」と題し、学びの場所の種類や家庭生活における準備、1年生になって困るかもしれない行動の例などを紹介しながら、講話します。

①学びの場所の種類



『学びの場所』が決まる（就学）までの流れ



色々な機関がサポートしてくれます



⑦保健指導

<保健指導の流れ（例）>

自己紹介し、結果返信する旨、伝える。

カルテと5歳児健康診査質問票を確認し、必要時再度、観察項目を実施。発育・発達を含む親子の健康課題を明確化する。



明確化された課題に対しての親子の困り等を確認し、支援ニーズに対する助言を行う。健診の場で課題解決に至らない場合は、継続支援の了承を得る。
その他、必要と思われる保健指導を実施する。

<必要時> 支援ニーズにより専門職につなぐ

*食に関すること：栄養士

*就学に関すること：特別支援コーディネーター

*子育てに関すること：心理師 など

児・保護者に生活の困りや気になりがあり、希望する場合は相談会を案内

保護者に困りはないが、アンケートや問診項目等で継続確認が必要と考えられる場合は「園や保護者への確認」の了承を得て、時期をおいて保護者に連絡。

5歳児フォロー相談会（二次スクリーニング）

⑧健診後カンファレンス

【メンバー】

特別支援コーディネーター

保健師・栄養士・公認心理師・幼稚園教諭



＊こどもや家庭全体の健康課題を再度整理。

＊医師の診察結果、保健指導の結果、健診従事者の情報を持ち寄る。

＊保健師の保健指導で行ったフォローアップに関する判断の妥当性を検討。

＊上記をもとに「総合判定」を行う。

＊「発育・発達を含む、児と保護者の健康課題に対する継続的な支援が必要」と判断した場合は、「フォローアップの対象」として継続支援。

3. 5歳児健診の結果

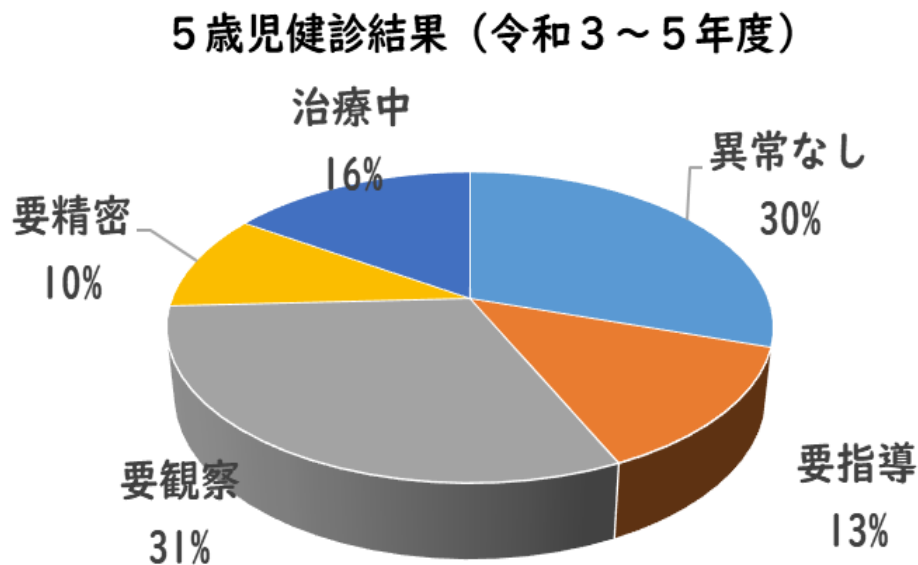
【受診率】

年度	受診率
R3年度	95.4%
R4年度	94.6%
R5年度	90.7%



※R5年度の未受診児はR6年度健診に受診勧奨予定。
受診率はR6.8現在

【判定結果】

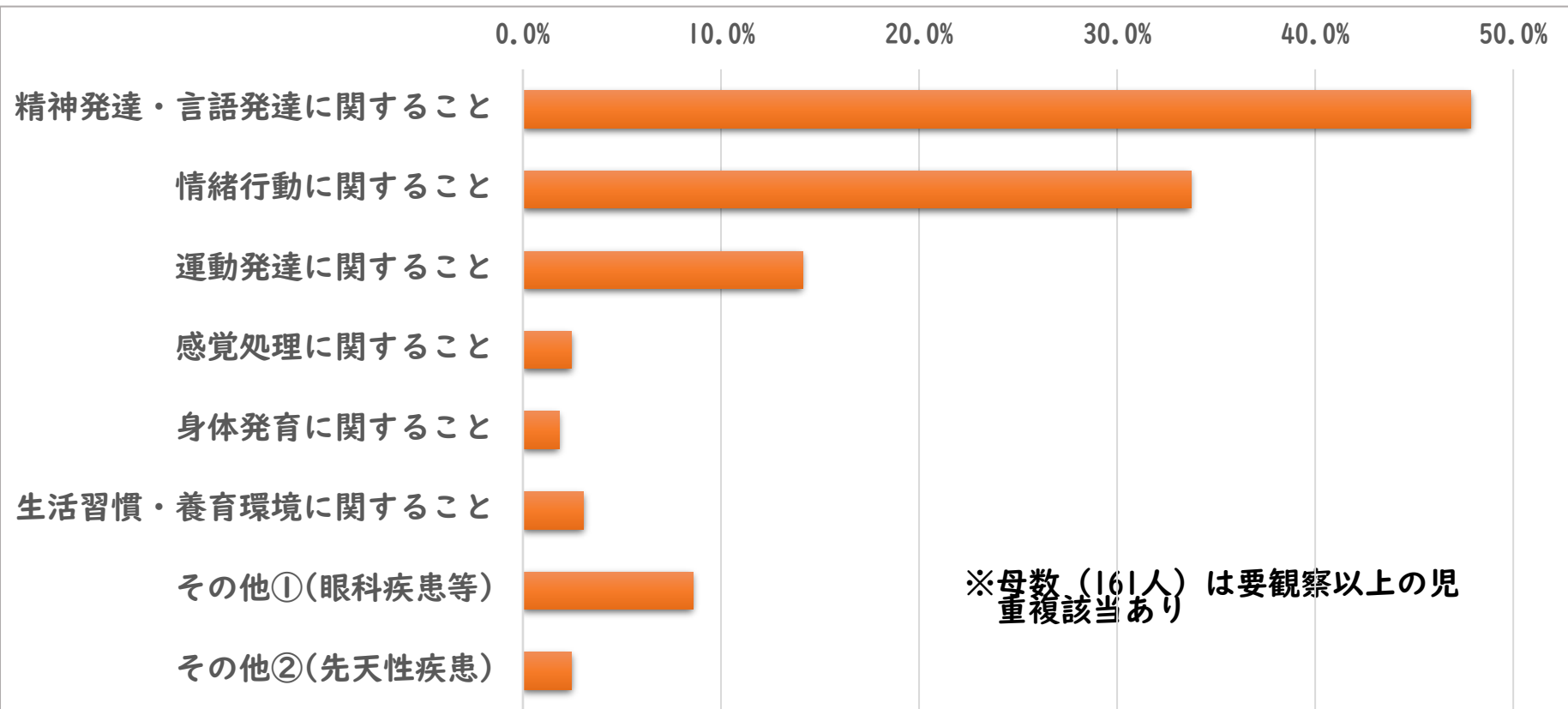


＊5歳児健診では、発達に関することだけでなく、子育てに関する気になり方を幅広く支援するため「要観察」割合が高い。

＊「治療中」は療育医療機関への継続受診の児の割合が高い。

5歳児健診の結果

【要観察以上の児の内容】



	その他②(先天性疾患)	その他①(眼科疾患等)	生活習慣・養育環境に関すること	身体発育に関すること	感覚処理に関すること	運動発達に関すること	情緒行動に関すること	精神発達・言語発達に関すること
系列2	2.5%	8.6%	3.1%	1.8%	2.5%	14.1%	33.7%	47.9%

健診後のフォロー体制

【健診結果・総合判定に応じて】



異常なし 要指導		要観察				要精密	要医療 治療中	
月齢に応じた保健指導	項目に応じた保健指導	保健師等、専門職による相談や家庭訪問	保健師・心理師による子育て相談（個別）	保育所・幼稚園等への訪問での確認	巡回療育相談（県）	5歳児フォロー相談会	専門医療機関	

1. 5歳児フォロー相談会

竹田市こども家庭センター

令和6年度 子育て相談会のご案内

竹田市では子育て支援のための個別相談会(無料)を専門機関の先生と連携して行っています。
お気軽にご相談ください。



医師相談：医師がお子さんの発達や発育の診察、相談を行います。

作業療法相談：お子さんの手先の不器用さ(鉛筆や箸の操作など)、未歩行、体の使い方などの相談に対してアドバイスをを行います。

ことばの相談：言葉の遅れ、発音の不明瞭さ、吃音(どもり)、コミュニケーション(一方的に話す、話しているが会話になりにくいなど)についてアドバイスをを行います。

心理相談：お子さんの発達に関する全般的なこと、子育ての悩み、しつけの方法などを心理学的視点からアドバイスをします。

教育相談：幼稚園入園や小学校就学までのスケジュールや準備、教育制度など必要な情報をお知らせしアドバイスをします。

【今年度の日程】

5月23日(木)	午後 13:00~17:00 相談は個室で 40分程度行います。
6月21日(金)	
7月18日(木)	
9月12日(木)	
10月18日(金)	
11月21日(木)	
1月23日(木)	
2月21日(金)	
3月13日(木)	

この日以外でも、当センターには、心理士が常勤しておりますので、お子さんの子育てに関する相談があれば、いつでもお気軽にご連絡ください。

【お申込み/相談】

竹田市こども家庭センター
☎63-4823
内線、自線

発達全般の医師相談

からだ、運動面の作業療法士の相談

ことばの言語聴覚士の相談

発達・子育てに関する心理士の相談

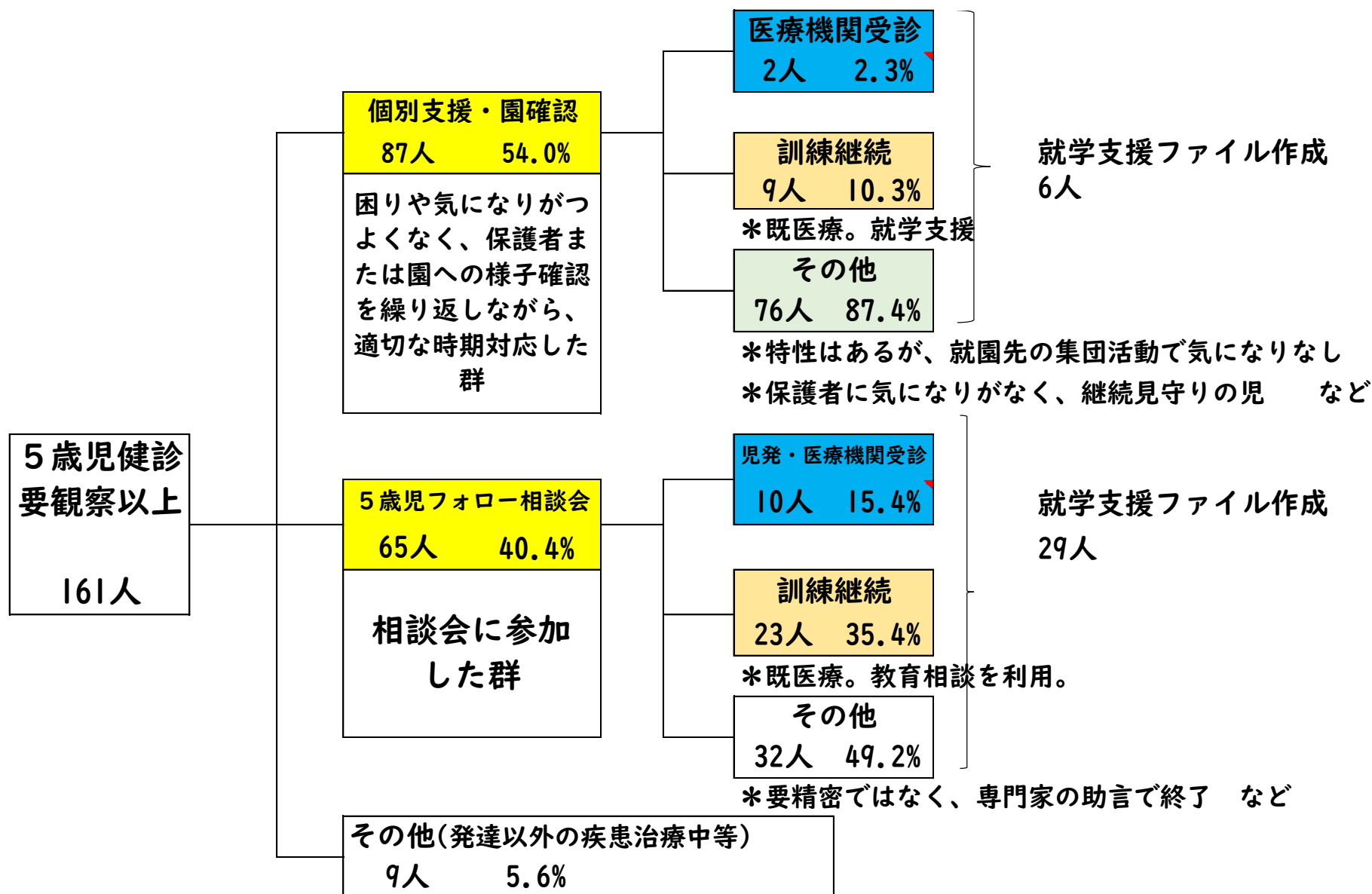
教育委員会による教育相談

【カンファレンス】

異常なし (終了)	・ 保護者の気になり解決 ・ 相談会の継続希望なし
要観察	・ 発達特性はあるが、困りが軽度の場合 ・ 保護者が継続した相談会希望がある場合 など
要精密 要医療	・ 療育機関受診のすすめ ※保護者が受診を希望しない場合は、相談会で経過観察
就学 支援	・ 就学支援ファイルの作成 ・ 学校見学等のケースワーク

＊要観察以上のご家庭に対しては「保護者に様子確認」⇒「園の様子確認」⇒「相談会（再）」を繰り返しながら、継続支援します。
療育機関につながったご家庭も就学前には相談会の希望の確認をします。

5歳児健診後の支援状況（R3～R5）



竹田市の5歳児健診の成果と課題

【成果】

- ・3歳児健診では気づけない軽度発達障がい児の早期発見・支援が可能となった。
- ・就学に向けての支援体制が整備された。
- ・保健・医療・福祉・教育委員会・教育保育施設・小中学校の連携が強化された。

顔の見える関係→日頃からの連携

地域資源が限られる中での「相互補完」

- ・多職種が、母子保健事業にかかわるきっかけとなった。
- ・保健師の力量形成

竹田市の5歳児健診の課題と成果

【課題】

- ・ 5歳児健診（集団）を実施できる体制の維持（医師の確保）
- ・ 保健師の問診技術等の力量形成
- ・ 情緒、社会性の発達状況や育児環境の課題など「保護者の気づき」を促す支援のあり方
- ・ 5歳児健診から、その後のフォロー体制のシステム化
こども家庭センターの強みを活かす

おわりに

多くのみなさまのご支援により
5歳児健診から就学まで、切れ目な
い支援体制が構築され、継続できて
いることに感謝いたします。

今回もこのような機会をいただき、
ありがとうございました。